Ⅳ．目指せプロゴルファー

●プレイ人数：４人（２人ｖｓ２人のタッグマッチプレイ）
●使用カード（４人分）：０と２～８と×…４枚ずつ、１と９と＋ー…８枚ずつ

※このルールは「ねがいましては!!」基本パックを2つ使ったルールです。

◆基本
　ゴルファーとキャディーになってゴルフをします。ゴルファーは数字カードを、キャディーは記号カードを使い、２人が協力して少ない打数（枚数）でカップイン（計算の完成）を目指しましょう。
　まずは大人にキャディーになってもらうと、分かりやすくプレイできると思います。

◆オナーの決定（ゲームスタート時）
1．２セット分の数字カードを全て混ぜ、よく切ってから、裏にして山にします。
2．キャディーの２人が数字カードの山から２枚ずつひきます。
3．そのうち１枚を表にしてみんなに見せます。
4．数字が大きい方を出したチームが、このコースの先攻となります。これをオナーと言います。

◆コンディションの決定（ゲームスタート時）
　後攻となったチームのキャディーが出した数字カードがこのホールのコンディションとなり、両チーム共通の計算式のはじまりの数字となります。オナー側のカードは捨て札にしてください。

◆ホールの長さの決定（ゲームスタート時）
　キャディーが持っているのこった数字カードを表にします。この２枚のカードがホールの長さになります。オナー側の数字が一の位、後攻側を十の位にして、場に表にして並べて置いてください。

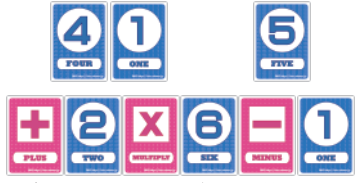
　２０以下……パー３
　２１以上５０以下…パー４
　５１以上９９以下…パー５

※「パー」とは、その打数でカップインすると０点という意味です。ゴルフは点数が少ない方が勝ちです。つまり、パー３のところ２打でカップインすると－１点獲得となります。

◆持ちカード
　キャディーは記号カード『＋ーを４枚、×を２枚』を手ふだにします。
　ゴルファーは数字の山から３枚ひいて、手ふだにします。手ふだは同じチームであっても見せてはいけません。

◆ラウンドの進行
　ショットを１打ずつ順番に行います。
　ゴルファーは数字カードを出し、キャディーは記号カードを出して、計算式をつくり、その答えがホールの長さのふたけたの数字にピッタリ合うとカップインです。
　計算式が少ない（打数が少ない）方が、このホールの勝ちです。同じなら引き分けです。
　計算は１打ごとに決定します。途中に×が入っても、その前の計算はかわりません。

例　ホールの長さ　コンディション



コンディションの５＋２が先に計算されるので７×６－１となり４１。３打でカップインです。

◆ショットの方法
1．まずキャディーが場に出ている数字カード（ー打目ならコンディションのカード）のよこに、手ふだから１枚選んでおきます。
2．ゴルファーは山から１枚カードをひき、手ふだの中から１枚選んで、場の記号カードの右におきます。これで１ショットとなります。

◆ショットがおわったら
　１つのショットがおわったとき、計算の答えがホールの長さとぴったり同じならカップインです。１つのショットがおわったら、カップインしても、していなくても、相手のショットにかわります。基本的にはふたつのチームがカップインするまでつづけてください。

◆スコア上の最多打数とギブアップ
　数字カードの山か、キャディーの手ふだが無くなったらそのコースは終わりです。どうしても無理だと思えばギブアップをすることもできます。
　スコアは最多で＋３までとします。例えばパー３で７打かかっても、ギブアップしても、スコアは＋３と記録してください。

◆どちらもカップインしたら
　このコースはおわりになります。スコアつけましょう。スコアは、パーを０とし、それより少なければマイナスを、多ければプラスを付けてください。
　先ほどの例で言えば、「４１」はパー４、打数は３でしたから、スコアは「ー１」となります。
　スコアを付けたら次のコースに行きましょう。

◆つぎのコースの準備
　新しいコースにはいったら、数字カードを全て集めてシャッフルして、山を作って下さい。
　そしてゴルファーはまた山から３枚ずつカードをひいて、手ふだにしてください。

◆２ホール目以降のオナー
　２ホール目以降のオナーは、前のコースで勝ったチームになります。もし引き分けなら、その前のオナーが続いてオナーになります。

◆２ホール目以降のコンディションとホールの長さ
1．このホールのオナーのキャディーが数字の山から１枚、後攻側が２枚引きます。
2．オナー側はそれを表にし、後攻側は選んで１枚を公開します。
3．この２枚がホールの長さになります。オナーが一の位、後攻が十の位です。
4．のこった後攻側の数字カードがコンディションとなります。

◆ＯＢ宣言
　ゴルファーはどうしても出せる数字カードが手ふだにない場合、「ＯＢ」を宣言することができます。ＯＢを宣言すると、今回のショットは中止にして、山から１枚さらにカードをひくことができます。
　ＯＢを宣言したら、すでに場においてある記号カードを裏にし、手札から１枚数字カードを裏にして、その右においてください。次のショットは裏向きのカードを飛ばして行います。
　ただしスコアは裏向きのカード分もふくめます。つまりＯＢ１回につき、＋１打となるわけです。
　この間、キャディーは両手を口の横に当て、遠くへ向かって「ファーーーーー」と声を出し続けてください。

例

ここでもう３打となります。

◆コース数
　本当のゴルフのルールでは、１８のホールをまわります。しかしこのルールで１８もまわっていては大変ですから、半分の９ホール、もしくは５ホールぐらいがちょうどいいと思います。
　まずはおためしで３ホールはどうでしょうか。

◆マッチプレイ（選択ルール）
　１ホールごとに勝ちか負け（か引き分け）だけを決めるルールです。勝ちなら○を、負けなら×を、引き分けなら△をスコアにつけてください。最後に○が多い方が勝利です。

ゲームデザイン・イラスト：うていす
カードデザイン等：あまおち総統
制作：AHC
http://ahc.saloon.jp/
初版：平成27年4月25日

この他随時ルールを加えていく予定です。
下記アドレスにて公開していきます。
http://ahc.saloon.jp/negai.html

コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
パー																				
チーム名																				
チーム名																				